

文部科学省科学技術・学術審議会研究計画・評価分科会報告書
「原子力に関する研究開発の推進方策について」について

平成18年8月8日
原子力委員会

原子力委員会は、平成18年8月1日に文部科学省より「原子力に関する研究開発の推進方策について（平成18年7月28日科学技術・学術審議会研究計画・評価分科会）」（以下、「本報告書」という。）について報告を受けた。

本報告書は、原子力政策大綱で示された原子力政策に関する基本方針を具体化するものとして、

基礎的・基盤的研究開発、量子ビームテクノロジー、核融合研究開発、高速増殖炉サイクル技術、高レベル放射性廃棄物の地層処分技術など原子力研究開発の推進

R I・研究所等廃棄物を始めとする放射性廃棄物の処理・処分、人材の育成・確保、産学官の連携、広聴・広報の充実、国際協力など基盤的活動の強化

に関する今後5年間程度の期間を見据えた原子力の研究開発の推進方策を示しており、原子力委員会としても、本報告書は原子力政策大綱を尊重したものになっていると認識している。

原子力研究開発は、学術の進歩はもとより、原子力が長期間にわたってエネルギー利用及び放射線利用を通じて国民社会に貢献していく上で重要なものであり、文部科学省におかれては、今後、本報告書を踏まえて、原子力研究開発に関する施策を推進していくとともに、政策に関する評価及び改善活動を通じて、それらの施策を最も効果的かつ効率的なものとするよう期待する。

以 上